



図 1



図 3



図 2

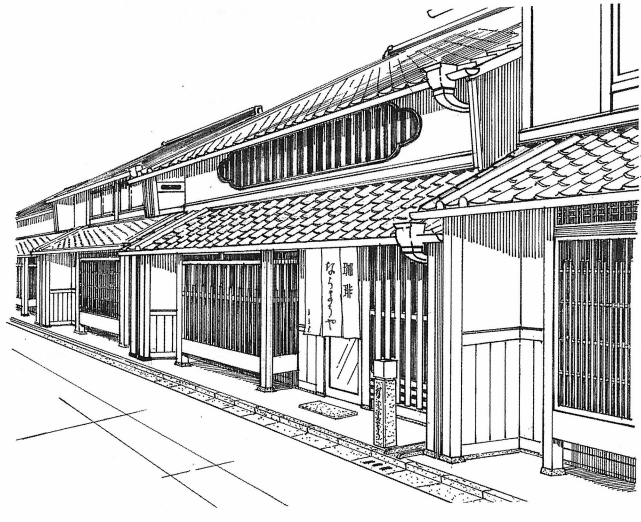


図 4

町並みとの調和を考えながら、現代の暮らし方から出てくる要求を取り入れて奈良町の町家を改修するとどうなるのかを示した案を紹介します。

図1の町家はもともとつし二階の伝統的な町家でしたが、このような表構えでは、せっかく手をいれたにもかかわらず隣近所とチグハグで町並みとの調和はみられません。図2は、ガレージをもつ住宅への改修例です。一階はむかって右側にガレージを設け、出入口に格子戸をいれています。出格子を復活させ、つし二階はむして窓も復原し町並みと調和した落ち着いた表構えとなっています。図3では、和菓子屋を開いてみました。つし二階はむして窓を復活させ、一階の出格子をショーウィンドーにし、和風を売り物とする店にもってこいの表構えとなっています。図4は、同じ建物を喫茶店に改装しました。一階の格子は比較的室内がよく見え、町並みとの調和と外部への解放感という相反する要求を満たすものです。

図2・3・4はいずれも、奈良町の町家の骨格を生かし、建物の用途を考慮しながら、奈良町で用いられている伝統的な様式を採用することによって町並みとの調和をはかろうとするものです。